

令和6(2024)年度の労働相談状況について

令和7(2025)年9月1日
栃木県産業労働観光部労働政策課

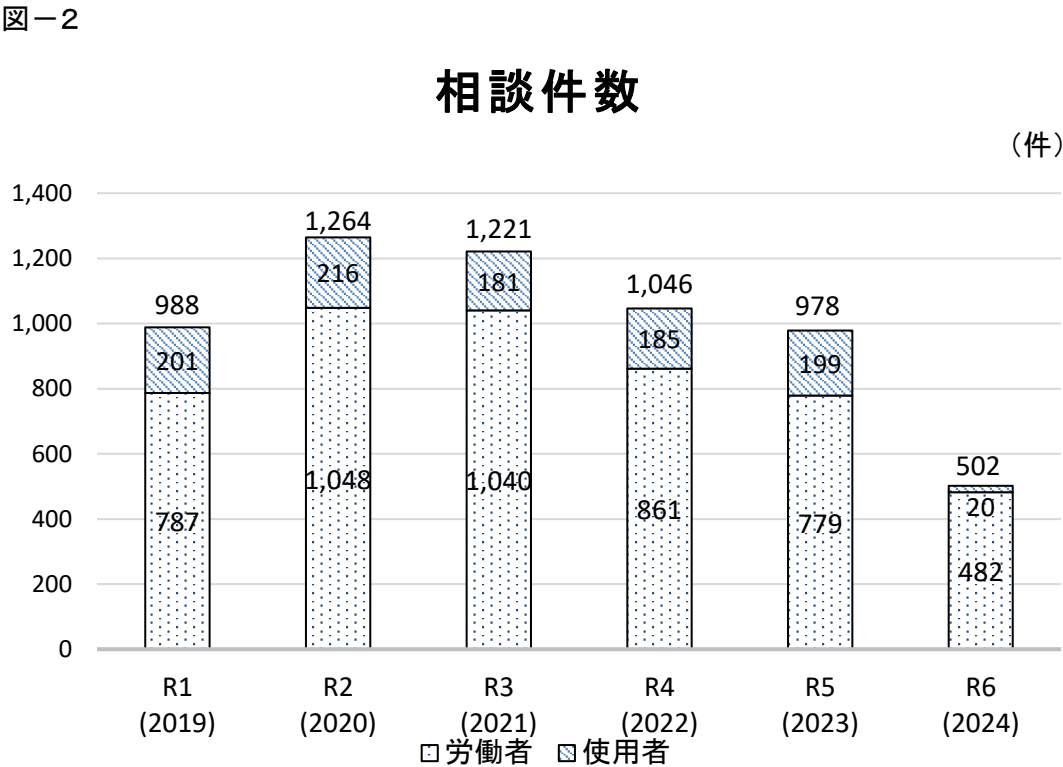
県では、労働者及び使用者からの労働条件や職場における人間関係など労働問題全般にわたる幅広い相談に応じています。
令和6(2024)年度の労働相談状況を取りまとめた結果は以下のとおりです。

1 労働相談件数

令和6(2024)年度の労働相談件数は502件で、前年度と比べると476件(▲48.7%)の減であった。

図－1 (件)

年度 労使別	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
労働者	787	1048	1,040	861	779	482
(構成比)	79.7%	82.9%	85.2%	82.3%	79.7%	96.0%
(対前年度比)	87.3%	133.2%	99.2%	82.8%	90.5%	61.9%
使用者	201	216	181	185	199	20
(構成比)	20.3%	17.1%	14.8%	17.7%	20.3%	4.0%
(対前年度比)	90.5%	107.5%	83.8%	102.2%	107.6%	10.1%
計	988	1,264	1,221	1,046	978	502
(対前年度比)	88.0%	127.9%	96.6%	85.7%	93.5%	51.3%

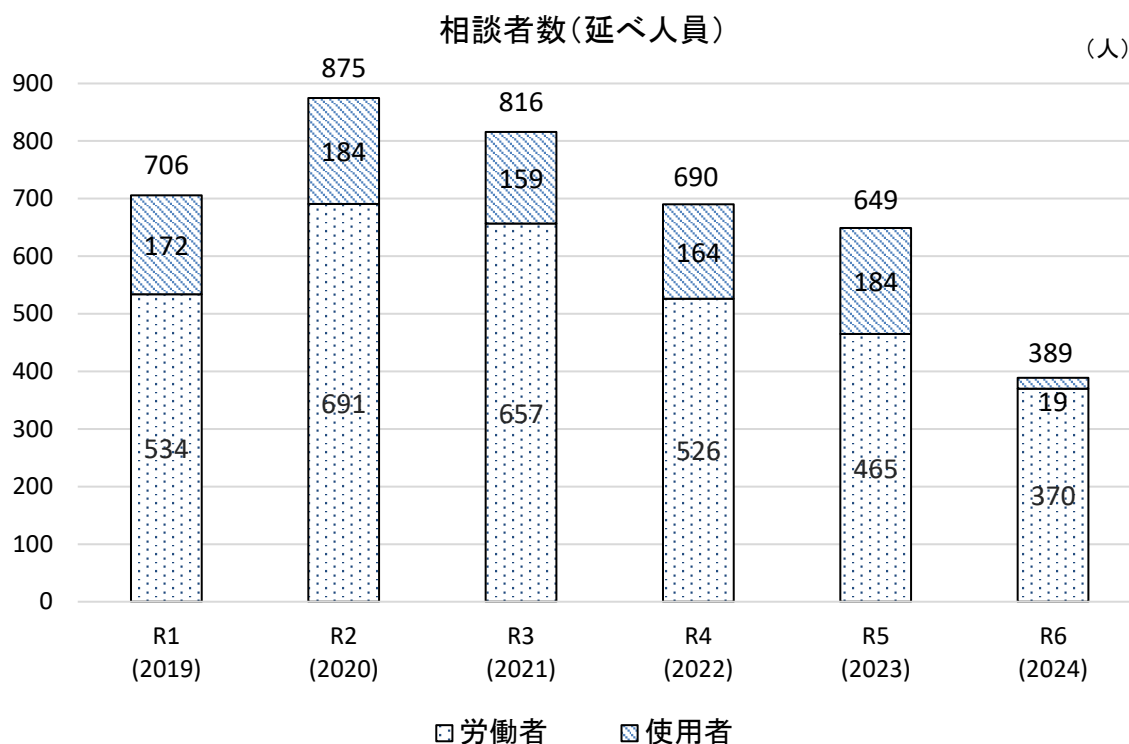


2 労働相談者数

令和6(2024)年度の労働相談者数は389人と、前年度の649人に対して260人(▲40.1%)の減となった。そのうち、労働者からの相談が370人で、前年度の465人に対して95人(▲20.4%)の減であった。

使用者からの相談は19人で、前年度の184人に対して165人(▲89.7%)の減であった。

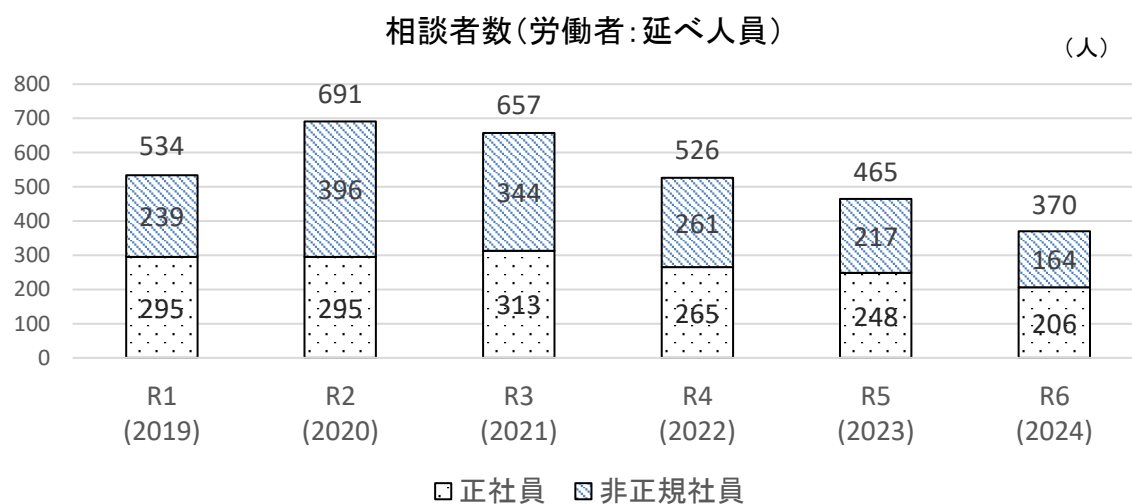
図－3



令和6(2024)年度の労働者からの相談のうち、正社員からの相談は206人であり、前年度の248人に対して42人(▲16.9%)減少した。

一方、非正規社員からの相談は、164人であり、前年度の217人に対して53人(▲24.4%)減少した。

図－4

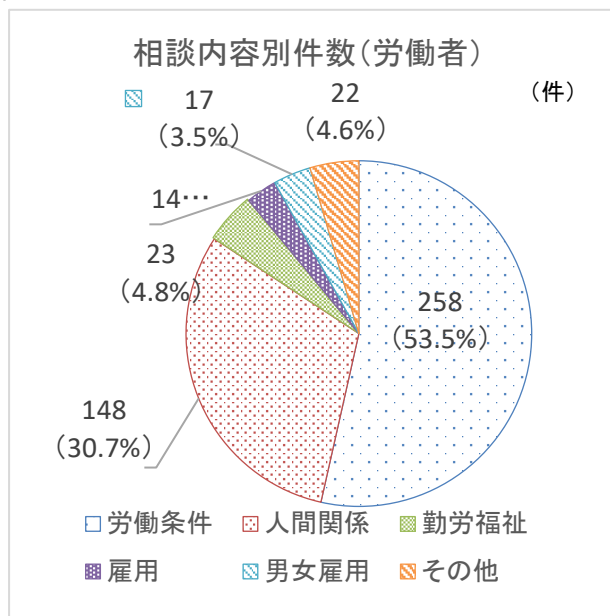


3 相談内容別件数(労働者)

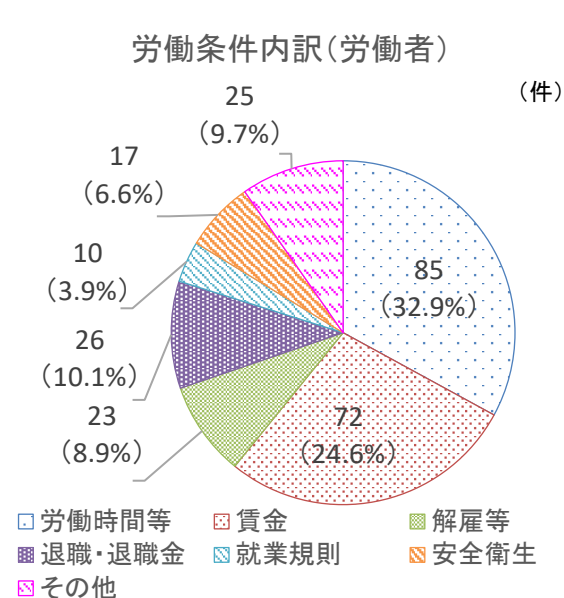
労働者からの相談(482件)は、「労働条件」に関することが53.5%と最も多く、次いで、パワハラ・いじめなどの「人間関係」となった。

「労働条件」の内訳では、「労働時間等」が32.9%と最も多く、次いで、「賃金」、「退職・退職金」、「解雇等」の順であった。

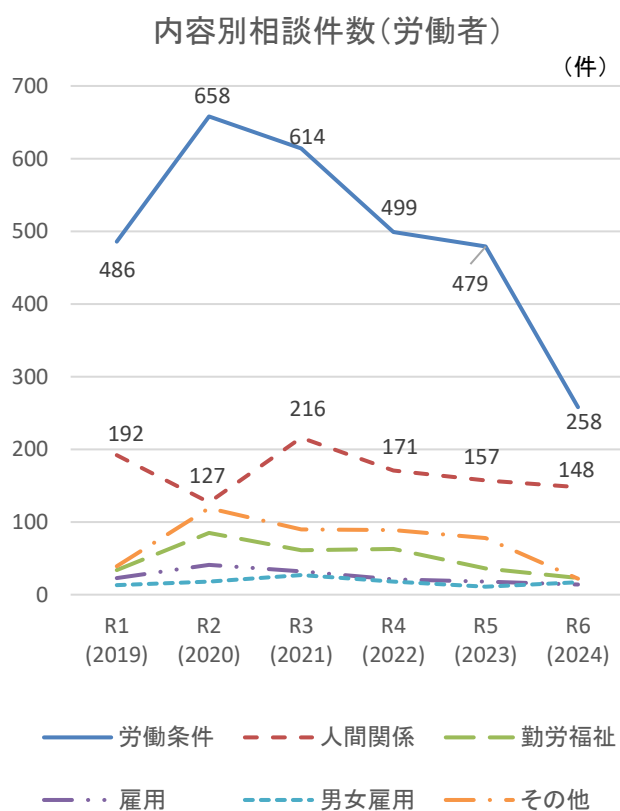
図－5



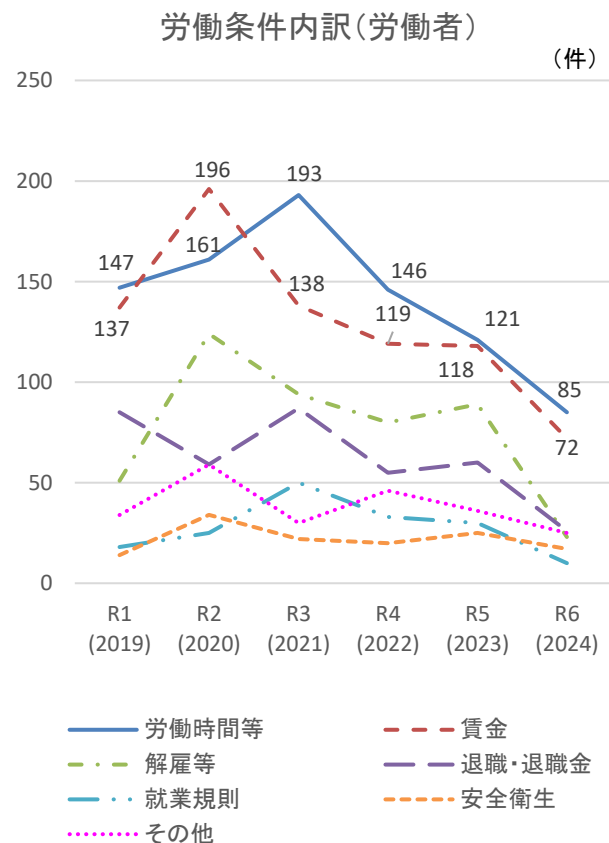
図－6



図－7



図－8

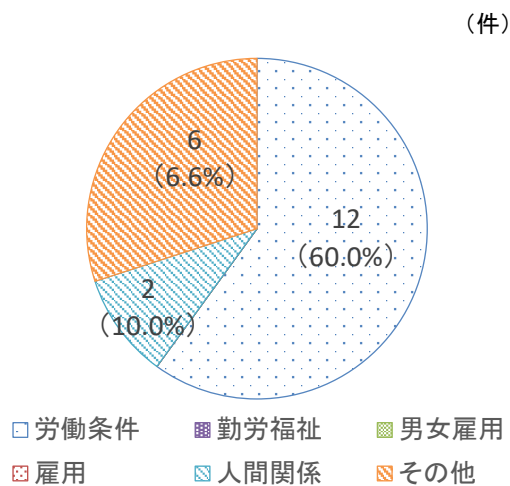


4 相談内容別件数(使用者)

使用者からの相談(20件)は、「労働条件」にすることが60.0%と最も多く、その内訳では、「労働時間等」の相談が50.0%であった。

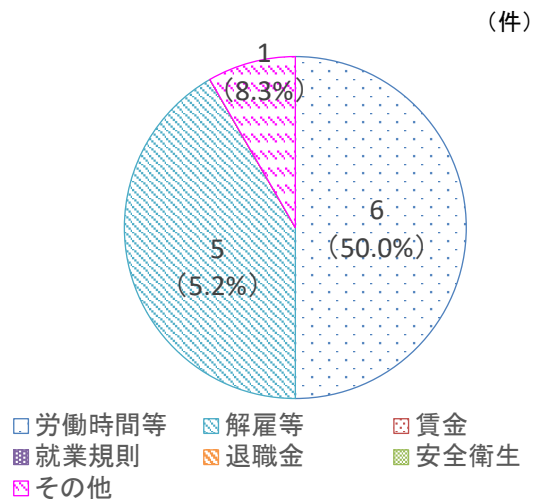
図－9

内容別相談件数(使用者)



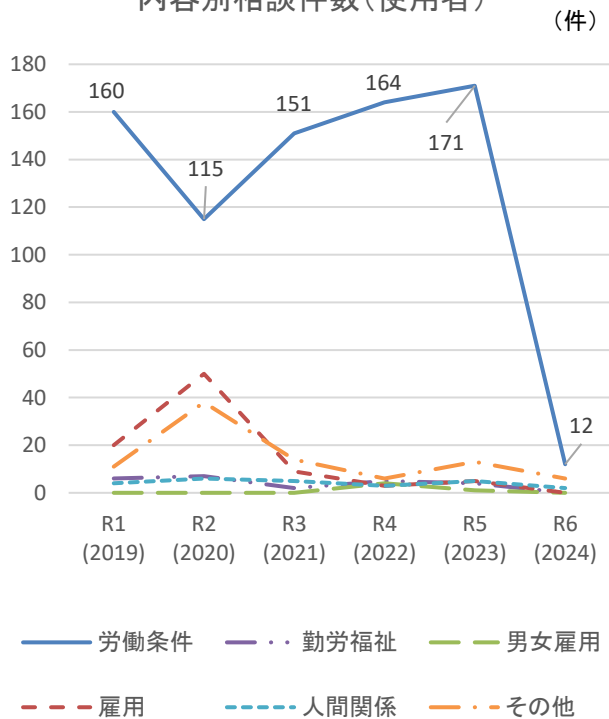
図－10

労働条件の内訳(使用者)



図－11

内容別相談件数(使用者)



図－12

労働条件内訳(使用者)

